

(10)久米島南西海域(沖縄本島:久米島町)

調査結果を P5-78～P5-84 に示す。

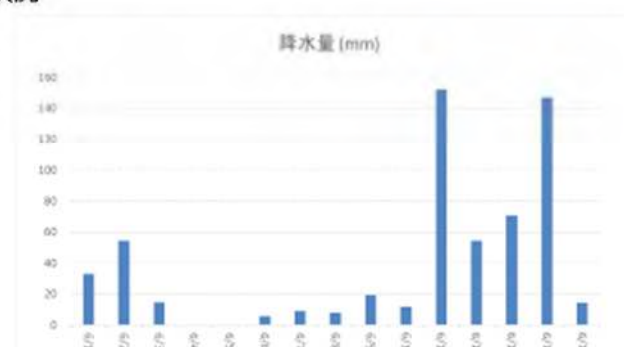
(51 久米島南西海域) 儀間川河口海域	
流域内状況	
本流域は久米島町の儀間川、白瀬川の流域から構成され、主に儀間川を中心に調査をおこなった。儀間川の上流は洪水調節や水道用水の確保を目的とした儀間ダムとなっており、白瀬川の上流にも農業用水確保を目的とした白瀬ダム（1号、2号）がそれぞれ位置している。	海域位置図 
流域図	
 * 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
赤土等流出により濁った儀間川下流	沈砂池の状況

(51 久米島南西海域) 儀間川河口海域

流出源調査 (2024年6月11日実施)

降雨状況 久米島観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。



(51 久米島南西海域) 儀間川河口海域 流出源調査 (2024年6月11日実施)	
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。	
河口、河川状況等	
1	河口からの海にわたって赤土が堆積している。
2	儀間川の河口で濁水を確認し、濁度は38.7度であった。
3	儀間川の中流で濁水を確認し、濁度は173.7度であった。
4	儀間川の中流で濁水を確認し、濁度は125.3度であった。
5	沈砂池で濁水を確認したが、安全経路が確保できず採水はしていない。
6	儀間ダムの放水路の状況。
7	ダムの洪水吐の状況。
8	沈砂池で濁水を確認し、濁度は225.3度であった。
9	沈砂池で濁水を確認し、濁度は444.9度であった。
10	沈砂池で濁水を確認し、濁度は703.2度であった。
11	沈砂池の流出口で濁度を確認し、濁度は457.6度であった。
12,13	海岸が赤土により濁っていた状況を確認した。
流出情報等	
・農地	
A	排水路には濁水は確認されなかった。
B	排水路で濁水を確認し、濁度は149.7度であった。
C	ほ場から濁水が流出しており、濁度は80.1度であった。
D	排水路には濁水は確認されなかった。
E	排水路で濁水を確認し、濁度は328.9度であった。
F	ほ場から濁水が流出しており、濁度は1106.0度であった。
G	水路から道路へ濁水はあふれており、濁度は1884.0度であった。
H	水路から道路へ濁水はあふれており、濁度は734.1度であった。
I	排水路には濁水が若干確認されなかった。
J	農道沿いを濁水が流れていた。
K	ほ場からの若干の濁水の流出を確認した。
L	土砂が農道に堆積していた。
M	ほ場からの若干の濁水の流出を確認した。
N	ほ場からの若干の濁水の流出を確認した。
O	ほ場からの若干の濁水の流出を確認した。
P	ほ場からの若干の濁水の流出を確認した。
・その他	
a	ブロック積の法面があり、植生が施されていた。
b	ヤードからの流出が確認された。
c	ヤードからの流出が確認された。
d	ほ場からの水路へ流出し、水路に土砂が堆積していた。
e	ほ場からの流出は確認されなかった。

令和4年度確認地点との比較

流出情報等	
・農地	
A	前回調査では流出が確認されなかったが、本調査では濁水流出していた。
C	前回調査では造成地であったが、本調査ではほ場になり濁水が確認された。
G	前回調査では流出が確認されなかったが、本調査では濁水流出していた。
H	前回調査では流出が確認されなかったが、本調査では濁水流出していた。
I	前回調査では流出が確認されなかったが、本調査では濁水流出していた。
J	前回調査では流出が確認されなかったが、本調査では濁水流出していた。
L	前回調査では流出が確認されなかったが、本調査では濁水流出していた。
M	前回調査と同じくマルチング等の対策があるものの、濁水が確認された。
N	前回調査と同じく、濁水が確認された。
O	前回調査と同じく足場板対策があったが、流出が確認された。
P	前回調査と同じく、濁水が確認された。
・その他	
a	前回調査時は工事中であったが、本調査では植生による対策がされていた。
流出防止対策等	
あ	前回調査と同じくグリーンベルトによる対策があり流出は確認されなかった。

(51 久米島南西海域) 儀間川河口海域 流出源調査 (2024年6月11日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
1. 河口から海方向	1. 河口から河川方向	2. 河川で採水 (濁度38.7度)
		
3. 河川で採水 (濁度173.7度)	4. 河川で採水 (濁度125.3度)	5. 沈砂池の状況
		
6. ダム洪水吐放水路状況	7. ダム洪水吐き状況	8. 沈砂池の状況 (濁度225.3度)
		
9. 沈砂池の状況 (濁度444.9度)	10. 沈砂池の状況、赤く濁っている (濁度703.2度)	11. 沈砂池流出水路で採水 (濁度457.6度)
		
12. 海岸の状況	13. 海岸の状況	A. 排水路状況、水は濁っていない

(51 久米島南西海域) 儀間川河口海域 流出源調査 (2024年6月11日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
B. 排水路状況、水は少し濁っている (濁度149.7度)	C. ほ場からの流出状況 (濁度80.1度)	D. 排水路状況、水は少し濁っている
		
E. 道路側溝で採水 (濁度328.9度)	F. ほ場からの流出状況 (濁度1106.0度)	G. 水路から道路へ濁水が溢れている (濁度1884.0度)
		
H. 水路から道路へ濁水が溢れている (濁度734.1度)	I. 水路状況、水が濁っている	J. 道路側を水が流れている
		
K. ほ場からの流出状況、若干流出	L. 土砂が農道にたまっている	M. ほ場からの流出状況、若干流出
		
N. ほ場からの流出状況	O. ほ場からの流出状況	P. ほ場からの流出状況

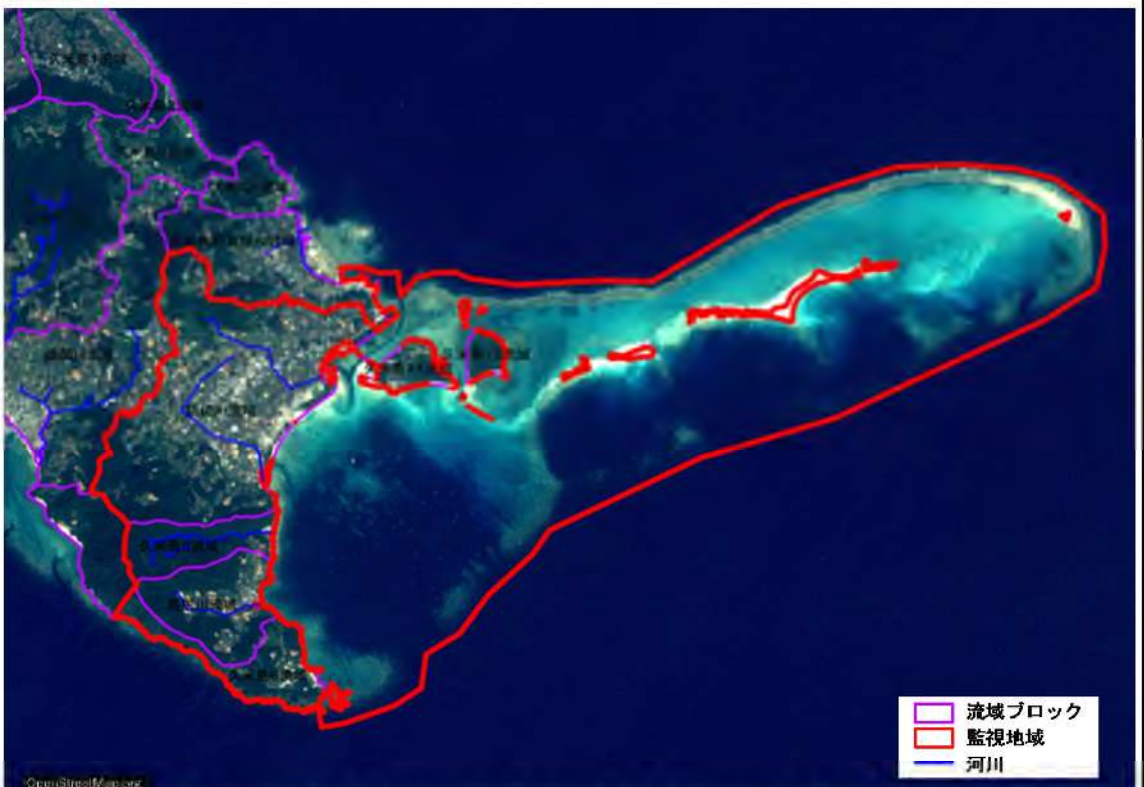
(51 久米島南西海域) 儀間川河口海域 流出源調査 (2024年6月11日実施)

採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。

		
a. 法面状況、ブロック積、植生	b. ヤードからの流出状況 (植生)	c. ヤードからの流出状況 (砂利)
		
d. ほ場からの流出状況	あ. ほ場からの流出無し	

(11)久米島北東海域(沖縄本島:久米島町)

調査結果を P5-86～P5-92 に示す。

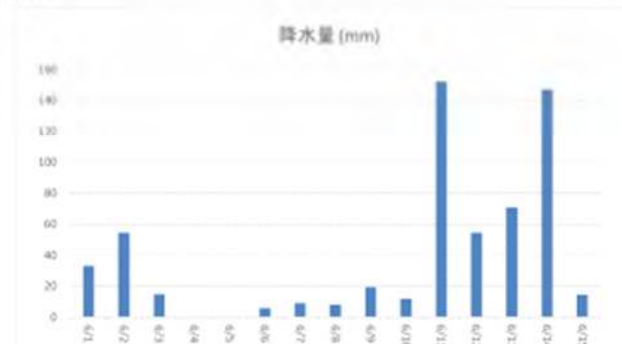
(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域	
流域内状況	
本流域は久米島町の南に位置する島尻川を中心とした流域である。島尻川沿いには農地が広がり、他の流域と比較して規模も小さく河川としての距離も短いことから、降雨量が同じであっても他の海域よりも流出量が多くなると考えられる。	海域位置図 
流域図	
 流域ブロック 監視地域 河川	
* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
河口付近の流出状況	沈砂池の流末水路

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域

流出源調査 (2024年6月13日実施)

降雨状況 伊原間観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。



* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)	
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。	
河口、河川状況等	
1	塩原城痕南側の河川で濁水を確認し、濁度は38.7度であった。
2	集落排水路の流末にある河口にて濁水を確認し、濁度は105.9度であった。
3	集落南側の河川にて濁水を確認し、濁度は69.8度であった。
4	河川横の裸地からも濁水が流出していた。
5	排水路で濁水を確認し、濁度は69.8度であった。
6	排水路で濁水を確認したが、安全経路が確保できず採水はしていない。
7	河川に流入する水路で濁水を確認し、濁度は257.2度であった。
8	集水畝で濁水を確認し、濁度は43.0度であった。
9	草地から流出する濁水を確認し、濁度は186.9度であった。
10	排水路で濁水を確認し、濁度は440.1度であった。
11	合流畝の濁水を確認し、濁度は30.7度であった。
12	合流畝の上流で濁水を確認し、濁度は92.5度であった。
13	沈砂池で濁水を確認し、濁度は147.5度であった。
14	合流畝に流入する濁水を確認し、濁度は14.9度であった。
流出情報等	
・農地	
A	河川へ濁水が流入する状況を確認した。
B	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
C	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
D	サトウキビ畑からの濁水流出の状況。
E	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
F	サトウキビ畑からの濁水流出の状況。
G	水路末端部で濁水を確認し、濁度は457.6度であった。
H	耕起後のほ場から濁水が流出していた。
I	休耕地から流出する濁水を確認した。
J	草地から流出する濁水を確認した。
K	未舗装道路を流下する濁水を確認した。
L	未舗装道路を流下する濁水を確認した。
M	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
N	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
・その他	

流出防止対策等

・その他（造成地や工事など）	
ア	沈砂池から濁水が流出しており、濁度は78.7度であった。
イ	沈砂池へ濁水が流入する状況を確認した。
ウ	法面崩壊箇所を確認した。
エ	未舗装道路に流出した濁水を確認した。
オ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は97.8度であった。
カ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は129.5度であった。
キ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は420.0度であった。
ク	沈砂池で濁水を確認し、濁度は287.8度であった。
ケ	沈砂池の流入部で濁水を確認した。
コ	休耕地から流出する濁水を確認した。
サ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は31.1度であった。
シ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は62.6度であった。
令和4年度確認地点との比較	
R6から調査開始したため、前回との比較はない。	

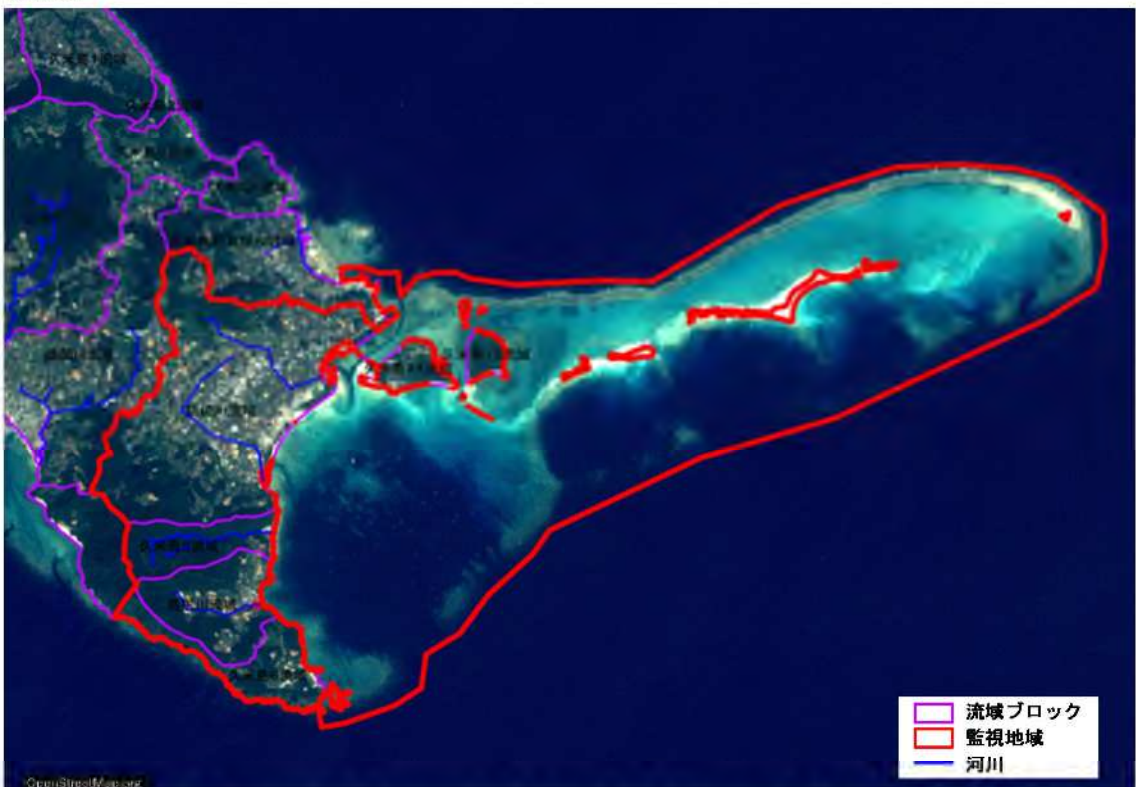
(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
1. 塩原城痕南側河川の濁水状況 (濁度38.7度)	2. 集落部水路流末、河口の濁水状況 (濁度105.9度)	3. 集落南側河川の濁水状況 (濁度69.8度)
		
4. 河川と裸地 (右側) の濁水流出状況	5. 水路の濁水状況 (濁度69.8度)	6. 水路の濁水状況
		
7. ほ場側溝から河川流入部の濁水状況 (濁度257.2度)	8. 枿の濁水状況 (濁度43.0度)	9. 草地から流出する濁水 (濁度186.9度)
		
10. 排水路の濁水状況 (濁度440.1度)	11. 合流枿の濁水状況 (濁度30.7度)	12. 合流枿周辺の濁水状況 (濁度92.5度)
		
13. 沈砂池の濁水状況 (濁度147.5度)	14. 合流枿に流入する濁水状況 (濁度14.9度)	A. 濁水の河川への流入状況

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
B. 葉殻マルチを施したほ場から道路へ流出した濁水状況	C. 葉殻マルチを施したほ場から道路へ流出した濁水状況	D. キビ畑からの濁水の流出状況
		
E. 葉殻マルチを施したほ場から道路へ流出した濁水状況	F. キビ畑の畝間からの濁水の流出状況	G. 水路末端部、下流水路なし（濁度457.6度）
		
H. 耕起ごのほ場からの濁水流出状況	I. 休耕地から流出する濁水状況	J. 草地から流出する濁水状況
		
K. 未舗装道路を流下する濁水状況	L. 未舗装道路を流下する濁水状況	M. 葉殻マルチを施したサトウキビ畑から流出した濁水状況
		
N. 葉殻マルチを施したサトウキビ畑から流出した濁水状況	ア. 沈砂池から流出する濁水の状況（濁度768.7度）	イ. 沈砂池への濁水の流入状況

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
ウ. 法面崩壊状況	エ. 未舗装道路に流出した濁水状況	オ. 沈砂池の濁水状況 (濁度97.8度)
		
カ. 沈砂池の濁水状況 (濁度129.5度)	キ. 沈砂池の濁水状況 (濁度420.0度)	ク. 沈砂池の濁水状況 (濁度287.8度)
		
ケ. 沈砂池の流入部の状況	コ. 休耕地から流出する濁水状況	サ. 沈砂池の濁水状況 (濁度31.1度)
		
シ. 沈砂池の濁水状況 (濁度62.6度)		

(12)島尻湾・久米島東域(沖縄本島:久米島町)

調査結果を P5-94～P5-100 に示す。

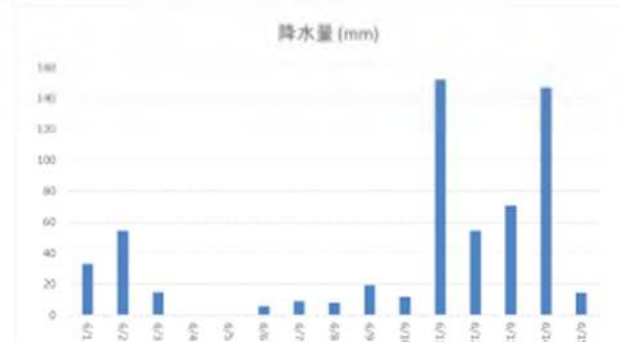
(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域	
流域内状況	
本流域は久米島町の南に位置する島尻川を中心とした流域である。島尻川沿いには農地が広がり、他の流域と比較して規模も小さく河川としての距離も短いことから、降雨量が同じであっても他の海域よりも流出量が多くなると考えられる。	海域位置図 
流域図	
 流域ブロック 監視地域 — 河川 ©OpenStreetMap.org	
* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
河口付近の流出状況	沈砂池の流末水路

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域

流出源調査 (2024年6月13日実施)

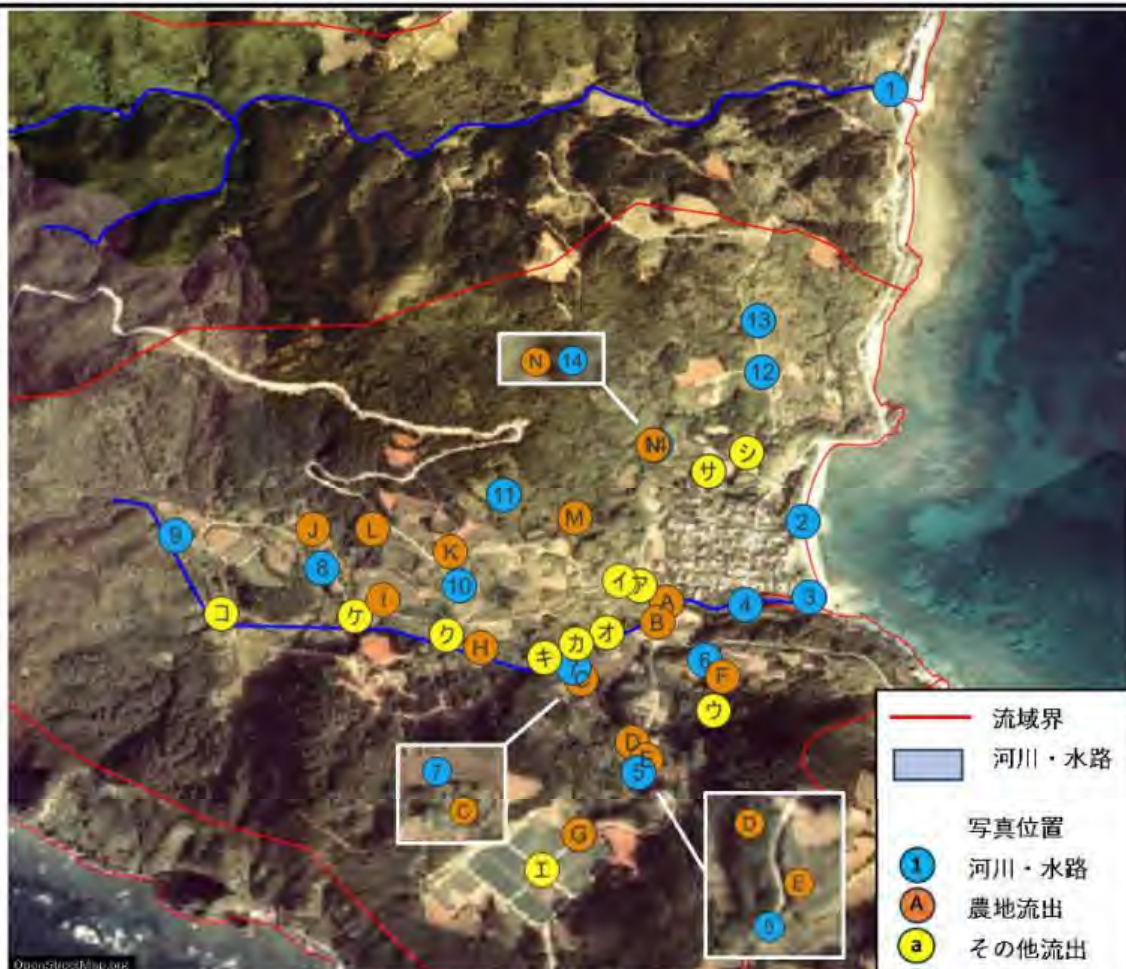
降雨状況 伊原間観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。



* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)	
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。	
河口、河川状況等	
1	塩原城痕南側の河川で濁水を確認し、濁度は38.7度であった。
2	集落排水路の流末にある河口にて濁水を確認し、濁度は105.9度であった。
3	集落南側の河川にて濁水を確認し、濁度は69.8度であった。
4	河川横の裸地からも濁水が流出していた。
5	排水路で濁水を確認し、濁度は69.8度であった。
6	排水路で濁水を確認したが、安全経路が確保できず採水はしていない。
7	河川に流入する水路で濁水を確認し、濁度は257.2度であった。
8	集水畝で濁水を確認し、濁度は43.0度であった。
9	草地から流出する濁水を確認し、濁度は186.9度であった。
10	排水路で濁水を確認し、濁度は440.1度であった。
11	合流畝の濁水を確認し、濁度は30.7度であった。
12	合流畝の上流で濁水を確認し、濁度は92.5度であった。
13	沈砂池で濁水を確認し、濁度は147.5度であった。
14	合流畝に流入する濁水を確認し、濁度は14.9度であった。
流出情報等	
・農地	
A	河川へ濁水が流入する状況を確認した。
B	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
C	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
D	サトウキビ畑からの濁水流出の状況。
E	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
F	サトウキビ畑からの濁水流出の状況。
G	水路末端部で濁水を確認し、濁度は457.6度であった。
H	耕起後のほ場から濁水が流出していた。
I	休耕地から流出する濁水を確認した。
J	草地から流出する濁水を確認した。
K	未舗装道路を流下する濁水を確認した。
L	未舗装道路を流下する濁水を確認した。
M	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
N	葉ガラムルチを施したほ場から道路へ流出した濁水を確認した。
・その他	

流出防止対策等	
・その他（造成地や工事など）	
ア	沈砂池から濁水が流出しており、濁度は78.7度であった。
イ	沈砂池へ濁水が流入する状況を確認した。
ウ	法面崩壊箇所を確認した。
エ	未舗装道路に流出した濁水を確認した。
オ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は97.8度であった。
カ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は129.5度であった。
キ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は420.0度であった。
ク	沈砂池で濁水を確認し、濁度は287.8度であった。
ケ	沈砂池の流入部で濁水を確認した。
コ	休耕地から流出する濁水を確認した。
サ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は31.1度であった。
シ	沈砂池で濁水を確認し、濁度は62.6度であった。
令和4年度確認地点との比較	
R6から調査開始したため、前回との比較はない。	

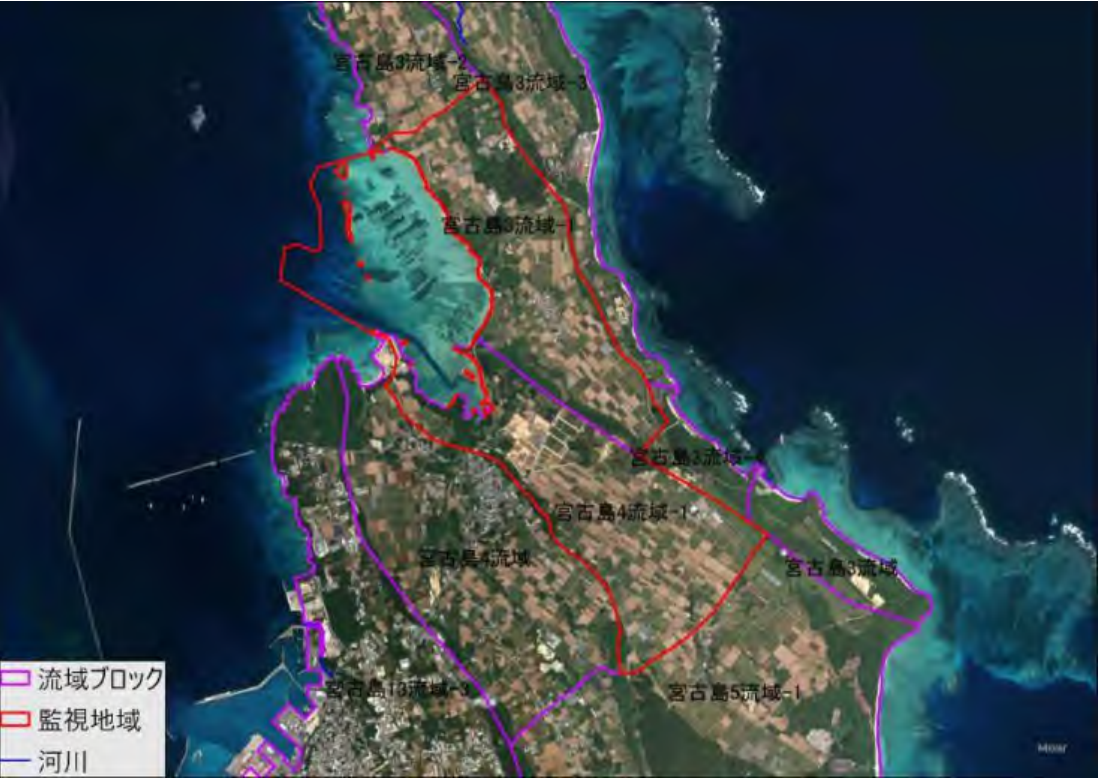
(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
1. 塩原城痕南側河川の濁水状況 (濁度38.7度)	2. 集落部水路流末、河口の濁水状況 (濁度105.9度)	3. 集落南側河川の濁水状況 (濁度69.8度)
		
4. 河川と裸地 (右側) の濁水流出状況	5. 水路の濁水状況 (濁度69.8度)	6. 水路の濁水状況
		
7. ほ場側溝から河川流入部の濁水状況 (濁度257.2度)	8. 柵の濁水状況 (濁度43.0度)	9. 草地から流出する濁水 (濁度186.9度)
		
10. 排水路の濁水状況 (濁度440.1度)	11. 合流柵の濁水状況 (濁度30.7度)	12. 合流柵周辺の濁水状況 (濁度92.5度)
		
13. 沈砂池の濁水状況 (濁度147.5度)	14. 合流柵に流入する濁水状況 (濁度14.9度)	A. 濁水の河川への流入状況

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
B. 葉殻マルチを施したほ場から道路へ流出した濁水状況	C. 葉殻マルチを施したほ場から道路へ流出した濁水状況	D. キビ畑からの濁水の流出状況
		
E. 葉殻マルチを施したほ場から道路へ流出した濁水状況	F. キビ畑の畝間からの濁水の流出状況	G. 水路末端部、下流水路なし（濁度457.6度）
		
H. 耕起ごのほ場からの濁水流出状況	I. 休耕地から流出する濁水状況	J. 草地から流出する濁水状況
		
K. 未舗装道路を流下する濁水状況	L. 未舗装道路を流下する濁水状況	M. 葉殻マルチを施したサウキビ畑から流出した濁水状況
		
N. 葉殻マルチを施したサウキビ畑から流出した濁水状況	ア. 沈砂池から流出する濁水の状況（濁度768.7度）	イ. 沈砂池への濁水の流入状況

(52 島尻湾・久米島海域) 島尻川河口海域 流出源調査 (2024年6月13日実施)		
採水作業は9時頃に実施。その際の1時間雨量は16.5mmとなっており、積算雨量は58.0mmであった。		
		
ウ. 法面崩壊状況	エ. 未舗装道路に流出した濁水状況	オ. 沈砂池の濁水状況 (濁度97.8度)
		
カ. 沈砂池の濁水状況 (濁度129.5度)	キ. 沈砂池の濁水状況 (濁度420.0度)	ク. 沈砂池の濁水状況 (濁度287.8度)
		
ケ. 沈砂池の流入部の状況	コ. 休耕地から流出する濁水状況	サ. 沈砂池の濁水状況 (濁度31.1度)
		
シ. 沈砂池の濁水状況 (濁度62.6度)		

(1) 大浦湾(宮古島)

調査結果を P5-1 0~3P5 10 7に示す。

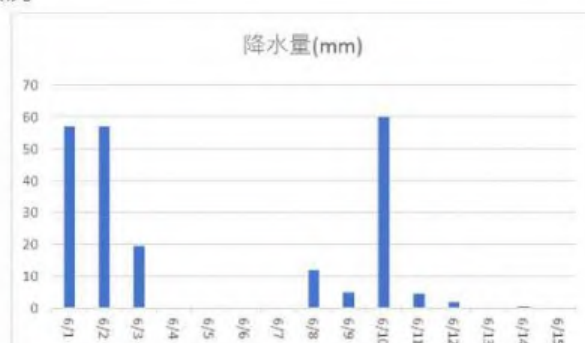
(53 大浦湾(宮古島)) 大浦湾海域	
流域内状況	
本流域は宮古島北部に位置する流域である。土地改良事業が行われた地域が多く、調査時も事業を行っている地域が確認された。	海域位置図 
流域図	
 *衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
沖縄県赤土流出防止対策条例に係わる表示看板	土地改良事業地区の新規浸透池

(53 大浦湾(宮古島)) 大浦湾海域

流出源調査 (2024年6月11日実施)

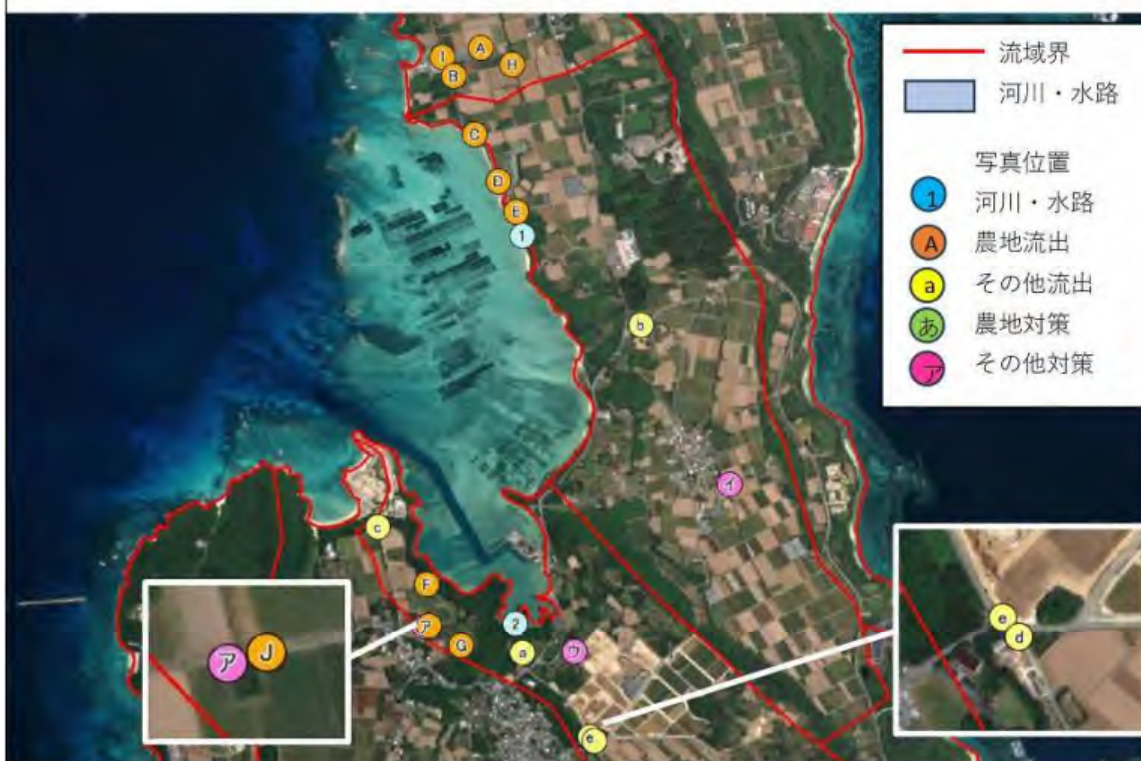
降雨状況 宮古島観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

終日の合計で4.5mmの雨が降っていたが、少雨のため通常時として調査



* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(53 大浦湾(宮古島)) 大浦湾海域流出源調査 (2024年6月11日実施)	
終日の合計で4.5mmの雨が降っていたが、少雨のため通常時として調査	
河川、河口状況等	
1	北側海域においては濁りが確認されなかった。
2	西側海域においては濁りが確認されなかった。
農地情報等	
・農地	
A	農地から赤土等の流出痕が確認された。集水枡内の濁水はわずかであった。
B,E,G,I	サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕が確認された。
C	サトウキビ畑から道路へ濁水の流出が確認され、濁度は53.8度であった。
D,F	農地から赤土等の流出痕が確認された。
H	サトウキビ畑から道路へ濁水の流出が確認され、濁度は15.5度であった。
J	サトウキビ畑から道路へ濁水の流出が確認され、濁度は10.4度であった。
・その他	
a	事現場もしくは残土置き場が確認され濁水の滞留があった。濁度は12.1度であった
b	残土置き場がみられた。ほぼ裸地であった。
c	過年度に工事中であった地点で、現場内に立ち入れなかった。道路に流出痕などは確認されなかった。
d	作業ヤードから道路への赤土等の流出痕が確認された。
e	土地改良事業地区。赤土等流出防止条例に係わる看板が確認された。
流出防止対策等	
・その他(造成地や工事など)	
ア	浸透池において滞水は確認されなかった。
イ	浸透池において滞水は確認されなかった。
ウ	現在土地改良事業工事中の地区の浸透池。滞水は確認されなかった。

(53 大浦湾(宮古島)) 大浦湾海域流出源調査 (2024年6月11日実施)		
終日の合計で4.5mmの雨が降っていたが、少雨のため通常時として調査		
		
1：北側海域の状況 (濁り無)	2：西側海域の状況 (濁り無)	A：農地から側溝への赤土等の流出痕
		
B：サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕	C：サトウキビ畑から道路への濁水の流出状況	C：採水の状況 濁りあり (濁度53.8度)
		
D：農地から道路への赤土等の流出痕	E：サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕	F：農地から道路への赤土等の流出痕
		
G：サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕	H：サトウキビ畑から道路への濁水の流出状況	H：採水の状況 濁り少 (濁度15.5度)
		
I：サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕	J：サトウキビ畑から道路への濁水の流出状況	J：採水の状況 濁り少 (濁度10.4度)

(53 大浦湾(宮古島)) 大浦湾海域流出源調査 (2024年6月11日実施)		
終日の合計で4.5mmの雨が降っていたが、少雨のため通常時として調査		
		
a : 工事現場(残土置き場)	a : 採水の状況 濁り少 (濁度12.1度)	b : 残土置き場
		
c : 工事現場入口	d : 作業ヤードから道路への赤土 等流出痕	e : 赤土等流出防止条例に係わる 表示
		
ア : 浸透池の状況 (滞水なし)	イ : 浸透池の状況 (滞水なし)	ウ : 浸透池の状況 (滞水なし)

(2) 伊原間湾

調査結果を P5-1 0~9P5-11 2に示す。

(60 伊原間湾) 大浦川流域

流域内状況

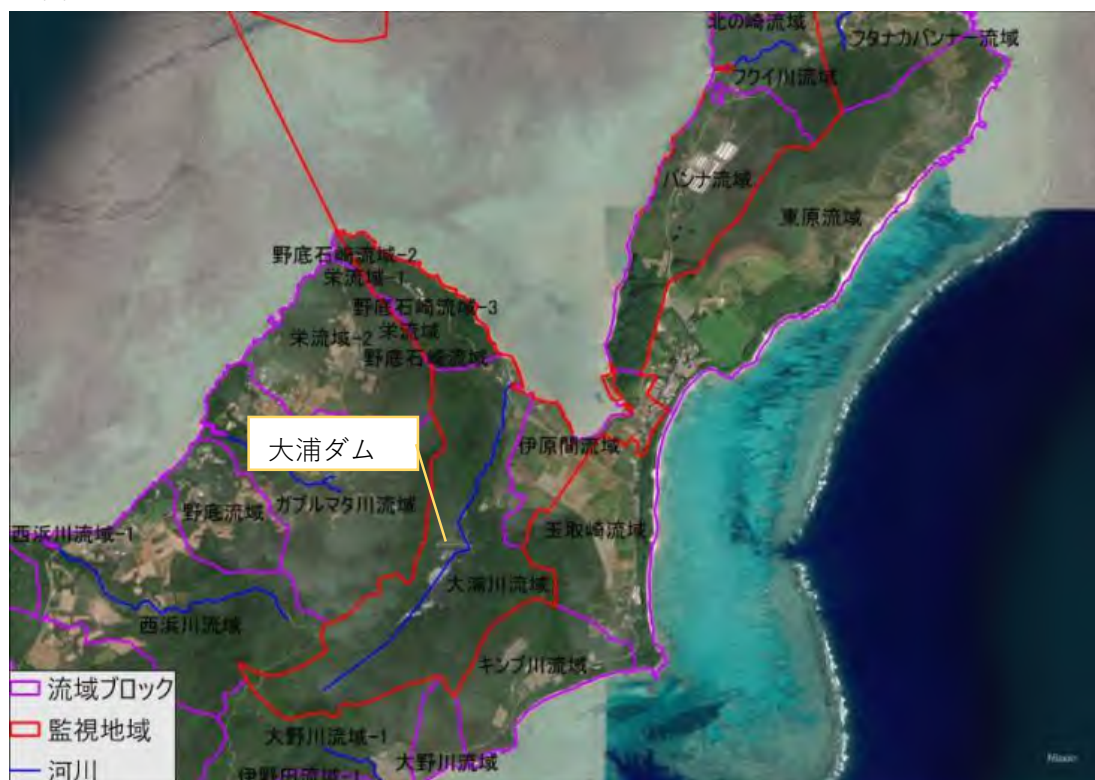
本流域は大浦川を主とする流域であり、石垣島北東部に位置する。流域の河口側に農地が多く、牧草の栽培が多くなっている。

農地における対策は多くないため農地からの流出もみられるが、調査においては上流部や山間部からの流出も確認された。

海域位置図



流域図



* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



山間部からの流出確認



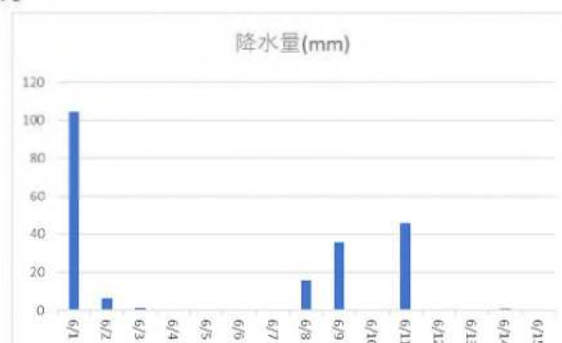
河口付近牧草地からの流出痕

(60 伊原間湾) 大浦川流域

流出源調査 (2024年6月12日実施)

降雨状況 伊原間観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。



- 流域界
- 河川・水路
- 写真位置
- ① 河川・水路
- Ⓐ 農地流出
- ⓐ その他流出
- Ⓐ 農地対策
- ⓐ その他対策

* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(60 伊原間湾) 大浦川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)	
調査日の降雨は確認されなかったため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	東側河川河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は5.8(度)であった。
2	西側河川河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は4.4(度)であった。
3	西側河川上流域の大浦ダム直下において、若干の濁りが確認され、濁度は6.4(度)であった。
4	西側河川上流域の大浦ダムにおいて、放水は確認されなかった。濁度は5.8(度)であった。
5	流域内南側の山部からの流れ込み箇所において、濁りが確認され、濁度は106.3(度)であった。
流出情報等	
・農地	
A	農地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
E	農地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
F	牧草地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
G	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
・その他	
a	前回調査時と同様に重機が確認され、道路への赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・その他 (造成地や工事など)	
イ	集水桝において、若干の濁りが確認され、濁度は12.8(度)であった。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	昨年度と比べ裸地は減った農地だったが道路への赤土等の流出痕に変化は無かった
E	昨年度と比べ変化は無く、道路への赤土等の流出痕に変化はなかった。
F	昨年度と比べ変化は無く、牧草地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
G	昨年度と比べサトウキビ畑は牧草地となっていたが、牧草地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
・その他	
a	前回調査時と同様に、道路への赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
イ	昨年度と比べ変化は無く、集水桝からは若干の濁りが確認された。

(60 伊原間湾) 大浦川流域流出源調査 (2024年6月12日実施)		
調査日の降雨は確認されなかったため通常時として調査		
		
1. 東側河川の河口域の状況	2. 西側河川の河口域の状況 (濁り無し)	3. 大浦ダム直下の状況 (濁り無し)
		
4. 大浦ダムの状況 (濁り無し)	5. 山部からの流れ込み箇所の状況(濁り有り)	A. 農地から道路へ赤土等の若干の流出痕状況
		
E. 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	F. 牧草地から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	G. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
a. 造成地の状況	b. 土砂置き場	イ. 集水桝の状況 (濁り少)

(3) 野底崎南

調査結果を P5-114～ P5-117に示す。

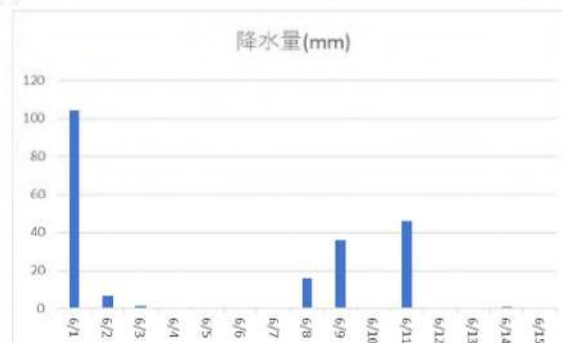
(61 野底崎南) 吹通川流域	
流域内状況	
本流域は吹通川を主とする流域であり、石垣島北東部に位置する。 対策のされていないサトウキビ畑が多く確認され、道路上に赤土が流出している様子が多く確認された。	海域位置図 
流域図	
 流域ブロック 監視地域 — 河川	
* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
サトウキビ畑から流出している様子	吹通川河口部

(61 野底崎南) 吹通川流域

流出源調査 (2024年6月12日実施)

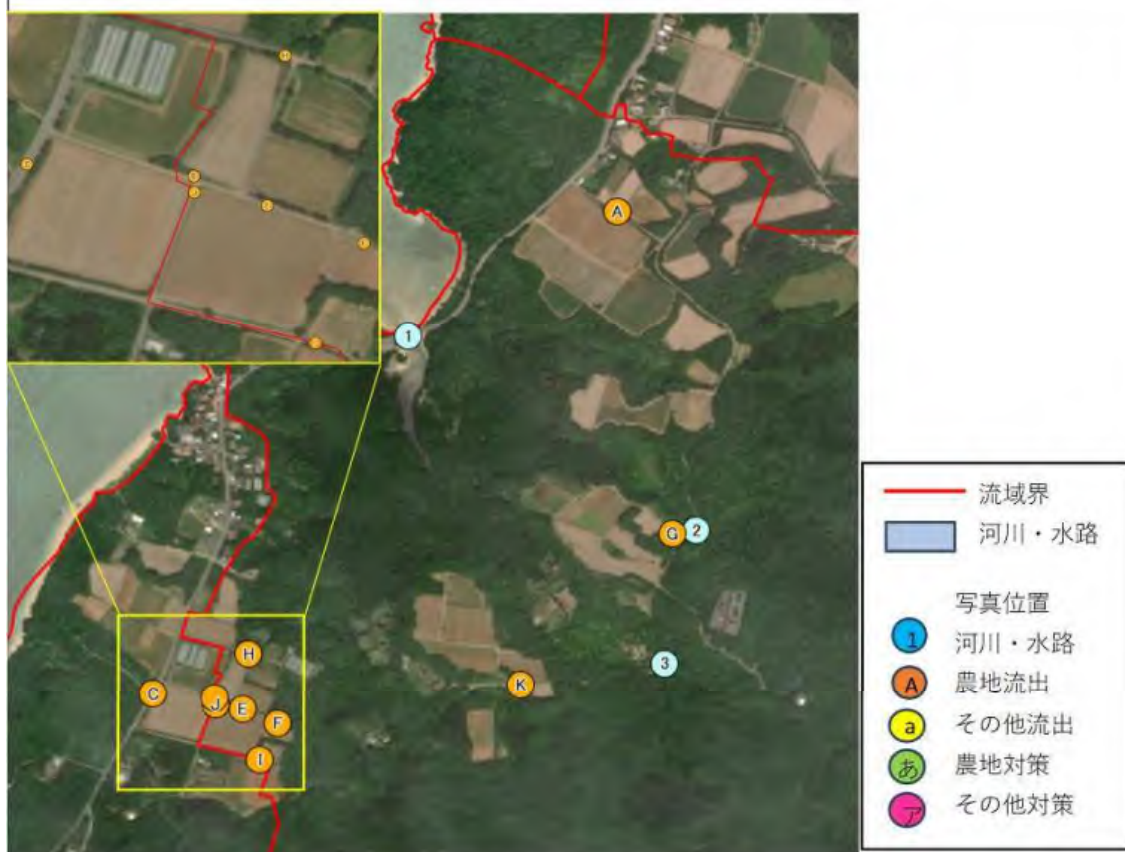
降雨状況 伊原間観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

当日は降雨が無かったため通常時として調査した。



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(61 野底崎南) 吹通川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)	
当日は降雨が無かったため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は20.2(度)であった。
2	東側支川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は32.8(度)であった。
3	南側支川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は24.1(度)であった。
流出情報等	
・農地	
A	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
C	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
D	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
E	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
F	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
G	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
H	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
I	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。濁度は54.8(度)であった。
J	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
K	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・今回調査した日程において対策箇所は確認できなかった。	
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
C	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
D	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
E	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
F	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
H	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
I	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(61 野底崎南) 吹通川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)		
当日は降雨が無かったため通常時として調査		
		
1. 河川河口域の状況 (濁りあり)	2. 東側支川中流域の状況 (濁りあり)	3. 南側支川中流域の状況 (濁りあり)
		
A. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	C. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	D. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況
		
E. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況	F. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況	G. サトウキビ畑の状況 (流出あり)
		
H. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出	I. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況	J. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況
		
K. 畑から道路へ赤土等の 流出		

(4) 川平湾

調査結果を P5-119～ P5-122に示す。

(63 川平湾) 下田原川流域

流域内状況

本流域は下田原川を主とする流域であり、石垣島西北部に位置する。

海岸付近に水田やサトウキビ畑が広がっている地域があり、降雨時には河川を経ずには濁水が流出していると思われる。



流域図



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



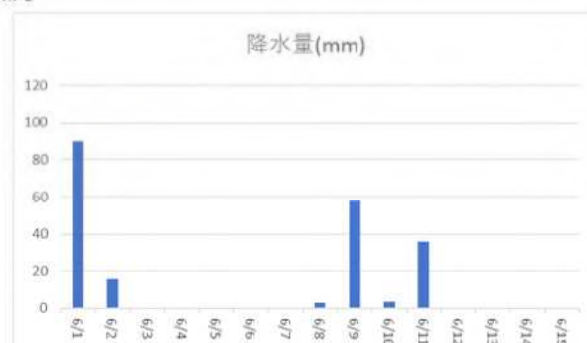
海岸付近の水田

(63 川平湾) 下田原川流域

流出源調査 (2024年6月10日実施)

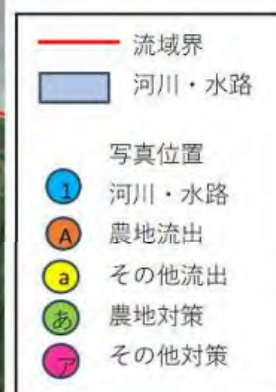
降雨状況 川平観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

調査日は3.5mmの降雨であった。



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(63 川平湾) 下田原川流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)	
調査日は3.5mmの降雨であったが少雨のため平常時として調査	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、濁りは確認されなかった。(濁度は3.8(度))
2	水田から河川へ続く水路において濁りが確認され、濁度は17.8(度)であった。
流出情報等	
・農地	
A	パイナップル畑から谷部や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
B	サトウキビ畑から側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C	休耕地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
E	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
F	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・農地	
あ	パイナップル畑において盛り土による対策が確認された。
過年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	令和4年度と変わらず農地内に降雨によるものと思われる浸食痕が確認されたことから、降雨時には谷部へ赤土等が流出している可能性が高いと考えられる。
B	令和4年度から変化は無くサトウキビ畑から側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C	令和4年度と比べ変化は無く休耕地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
E	令和4年度から変化は無くサトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
f	令和4年度との比較で確認したが、赤土等の流出は見られなかった。

(63 川平湾) 下田原川流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)		
調査日は3.5mmの降雨であったが少雨のため平常時として調査		
		
1. 河川河口域の状況 (濁り無し)	2. 水路の状況 (濁り有り)	A. パイナップル畑の状況
		
B. サトウキビ畑から側溝へ 赤土等の流出痕状況	C. 休耕地から道路へ赤土等の 流出痕状況	E. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況
		
F. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	f. 工事完了した前年度比較 (流出無し)	あ. 盛り土による流出対策

(5) 崎枝湾

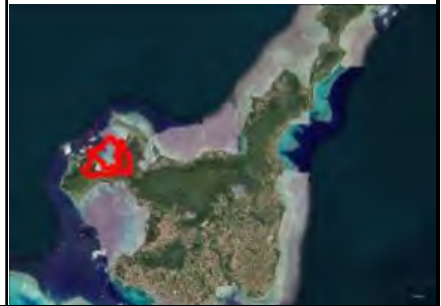
調査結果を P5-1 2~4P5-12 9に示す。

(64 崎枝湾) 崎枝流域

流域内状況

本流域は石垣島北西部に位置する。
営農的対策としてグリーンベルトなどの対策が多く確認された。土木的対策として集水枡や沈砂池なども確認されたが、土砂が多くたまっており効果が低くなっていると思われる。

海域位置図



流域図



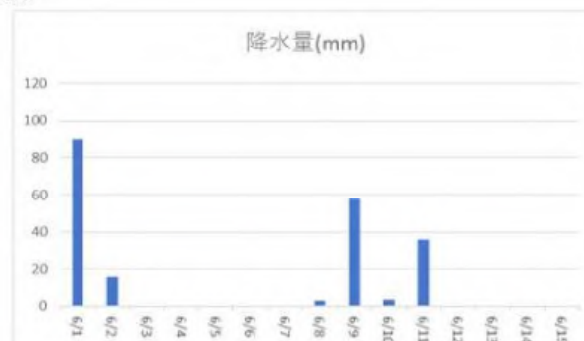
* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(64 崎枝湾) 崎枝流域

流出源調査 (2024年6月10日実施)

降雨状況 川平観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

・終日で3.5mmの降雨と少雨であったため、平常時として調査した。



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(64 崎枝湾) 崎枝流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)	
終日では3.5mmの少雨であったため、通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	西側河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は11.6(度)であった。
2	東側河口域において、かなりの濁りが確認され、濁度は172.8(度)であった。
流出情報等	
・農地	
A	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
B	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C	裸地の目立つサトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
D	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
E	裸地の目立つサトウキビ畑から側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
F	水田から側溝へ濁水の流出が確認され、濁度は49.4(度)であった。
G	水田から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
H	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・農地	
あ	サトウキビ畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
い	サトウキビ畑において、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。
・その他（造成地や工事など）	
ア	集水桝において、濁水が滞留している状況であったものの、オーバーフローは確認されなかった。また、集水桝内には土砂の堆積が確認された。
イ	「地点1」の直上に確認された沈砂池において、濁りが確認されたものの、オーバーフローの状況は不明であった。
ウ	「地点2」の直上に確認された沈砂池において、若干の濁りが確認された。オーバーフローの状況を直接確認することはできなかったが、「地点2」においてこの沈砂池から続く水路から濁水の流出が確認された。
エ	集水桝において、濁水が滞留している状況であったものの、オーバーフローは確認されなかった。また、集水桝内には土砂の堆積が確認された。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	令和4年度と比べ変化は無く、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
B	令和4年度と比べ変化は無く農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C	令和4年度と比べ、サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕は増加していた。
D	令和4年度と比べ変化は無く農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。

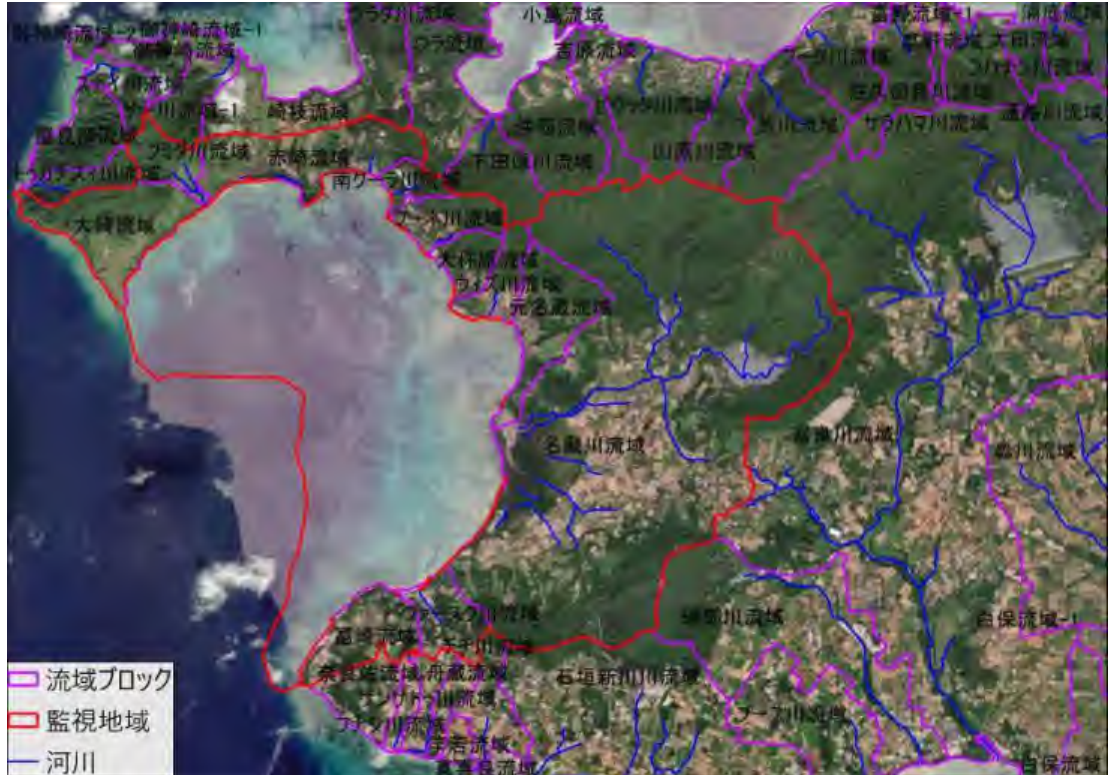
(64 崎枝湾) 崎枝流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)	
終日では3.5mmの少雨であったため、通常時として調査	
F	令和4年度と比べ変化は無く、水田から側溝へ赤土等の流出が確認され、側溝内に土砂の堆積が確認された。
G	令和4年度と比べ変化は無く、水田から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
H	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・農地	
あ	令和4年度と比べ変化は無く、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。
い	令和4年度と比べ変化は無く、ゲットウによるグリーンベルトが確認された。
・その他（造成地や工事など）	
ア	令和4年度と比べ、集水桝内の土砂の堆積量が増加しているようであった。
イ	令和2年度と比べ変化は無く、沈砂池には草本が茂っており、土砂が堆積していると考えられる。
ウ	令和2年度と比べ変化は無く、この地点から海域へ濁水の流出が確認された。また、沈砂池の底面が確認できないことから土砂の堆積は不明であった。

(64 崎枝湾) 崎枝流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)		
終日では3.5mmの少雨であったため、通常時として調査		
		
1. 西側河口域の状況 (濁りあり)	2. 東側河口域の状況 (濁りあり)	A. 農地から道路へ 赤土等の流出
		
B. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	C. 裸地の目立つサトウキビ畑か ら	D. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出
		
E. 裸地の目立つサトウキビ 畑から側溝へ赤土の流出	F. 水田から側溝へ濁水の流出 (濁りあり)	G. 水田から道路へ 赤土等の流出
		
H. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出	あ. ベチバーによるグリーンベル ト	い. ゲットウによる グリーンベルト
		
ア. 集水樹の状況(オーバー フロー無し、土砂堆積)	イ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー不明)	ウ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー不明)

(64 崎枝湾) 崎枝流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)		
終日では3.5mmの少雨であったため、通常時として調査		
		
エ. 集水樹の状況(オーバーフロー無し、土砂堆積)		

(6) 名蔵湾

調査結果を P5-1 3～1P5-13 6に示す。

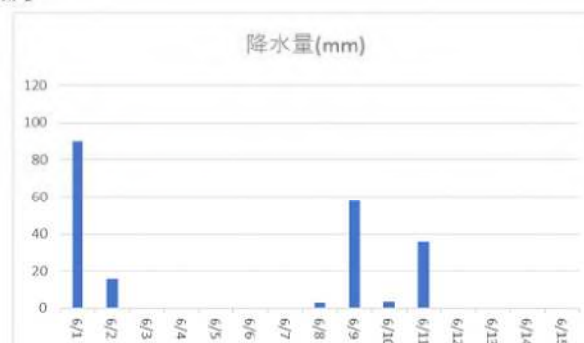
(65 名蔵湾) 名蔵川流域	
流域内状況	
本流域は石垣島西部に位置する。 名蔵川上流には名蔵ダムがあり、中流部には水田地帯が広がっている。	流域位置図 
流域図	
 * 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
名蔵ダム直下の様子	流域中部水田の様子

(65 名蔵湾) 名蔵川流域

流出源調査 (2024年6月10日実施)

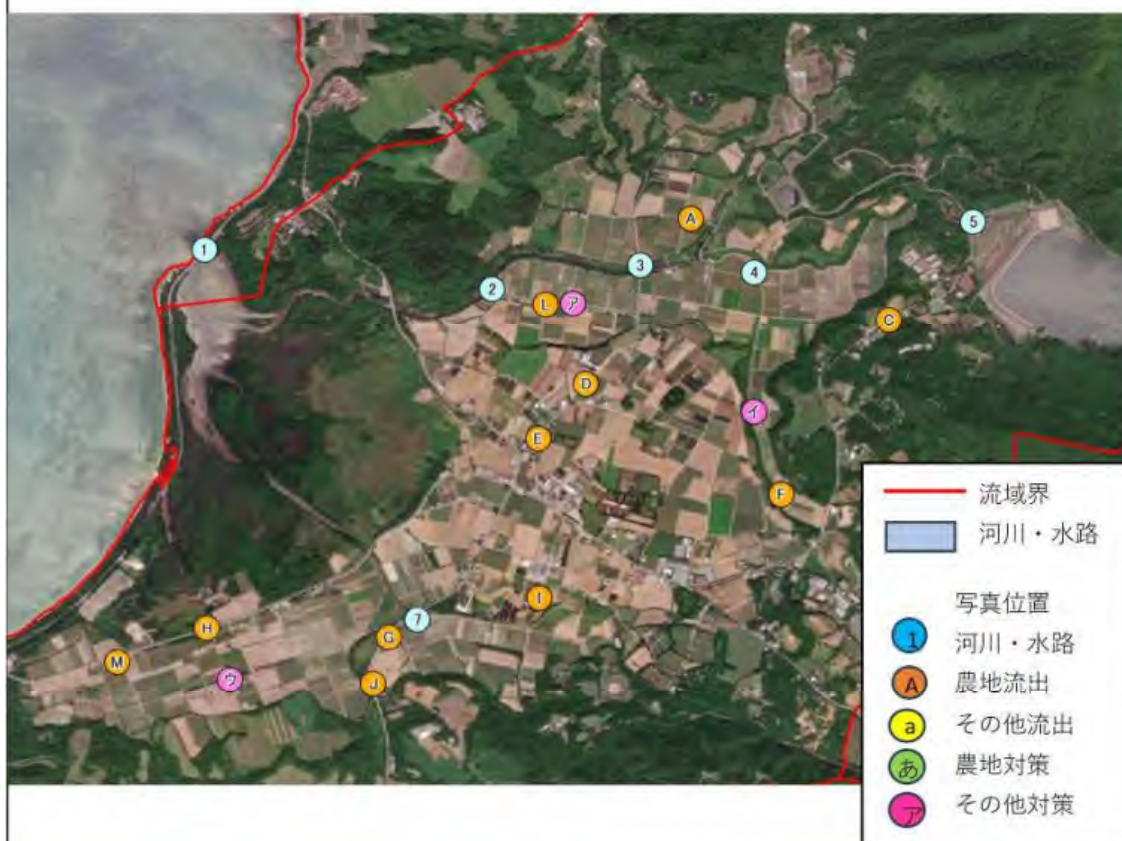
降雨状況 川平観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

終日の合計で3.5mmの雨が降っていた。



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(65 名蔵湾) 名蔵川流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)	
終日の合計で3.5mmの降雨であったが少雨のため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、濁りは確認されなかった。濁度は5.6(度)であった。
2	河川下流域において、濁りが確認され、濁度は47.2(度)であった。
3	河川中流域の堰において、濁りは確認されなかった。濁度は10.8(度)であった。
4	河川中流域において、濁りは確認されなかった。
5	河川上流域の名蔵ダム直下において濁りは確認されず、濁度は7.1(度)であった。
7	南側河川上流域において、若干の濁りが確認され、濁度は14.7 (度) であった。
流出情報等	
・農地	
A	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C	休耕地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。また、側溝内には土砂が若干堆積していた。
D	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
E	裸地の目立つ農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
F	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
G	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
H	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
I	パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
J	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
L	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
M	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・その他 (造成地や工事など)	
ア	集水桝において、濁りは無かったものの、土砂の堆積が確認された。
イ	集水桝において、若干の濁りが確認された。
ウ	集水桝において、濁りは無く、土砂の堆積は確認されなかった。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
C	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から側溝へ赤土等の若干の流出痕が確認された。また、依然として側溝内には若干の土砂が堆積していた。
D	令和4年度から変化は無くサトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
E	令和4年度と比べ、サトウキビ畑は裸地の目立つ農地になっており、道路への赤土等の流出痕が確認された。
F	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。

(65 名蔵湾) 名蔵川流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)	
終日の合計で3.5mmの降雨であったが少雨のため通常時として調査	
G	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
H	令和4年度と比べ、裸地の目立つ農地は休耕地になっており、依然として道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
I	令和4年度と比べ変化は無く、パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
J	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
L	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
M	令和4年度と比べ、裸地の目立つ農地は休耕地になっており、依然として道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・その他（造成地や工事など）	
ア	令和4年度と比べ変化は無く、集水桝には土砂が堆積していた。
イ	令和4年度と比べ変化は無く、集水桝に濁りが確認され底面が確認できないことから、土砂の堆積状況は不明であった。
ウ	令和4年度と比べ変化は無く、集水桝の土砂は若干堆積していた。

(65 名蔵湾) 名蔵川流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)		
終日の合計で3.5mmの降雨であったが少雨のため通常時として調査		
		
1. 河川河口域の状況 (濁り無し)	2. 河川下流域の状況 (濁りあり)	3. 河川中流域の状況 (濁り無し)
		
4. 河川中流域の状況 (濁り無し)	5. 名蔵ダム直下の状況 (濁り無し)	7. 南側河川上流域の状況 (濁り少)
		
A. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	C. 休耕地から側溝へ赤土等の流出痕状況	D. サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
E. 裸地の目立つ農地から道路へ赤土等の流出痕状況	F. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	G. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
H. 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	I. パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況	J. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況

(65 名蔵湾) 名蔵川流域 流出源調査 (2024年6月10日実施)		
終日の合計で3.5mmの降雨であったが少雨のため通常時として調査		
		
L. サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕状況	M. 農地から道路へ赤土等の流出痕状況	A. 集水樹の状況 (土砂堆積)
		
I. 集水樹の状況 (濁り少)	U. 集水樹の状況 (濁り無し)	

(7) 石垣島東南

調査結果を P5-1 3～8P5-14 2に示す。

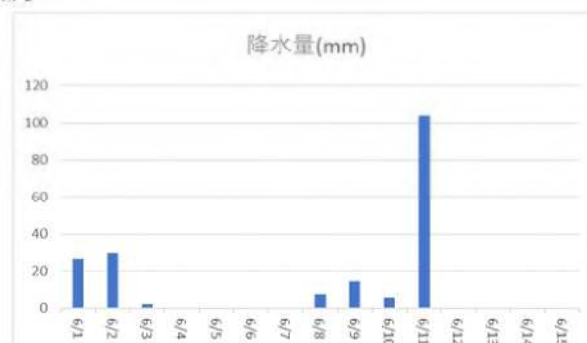
(69 石垣島東南) 轟川流域	
流域内状況	
本流域は轟川を主流域とする流域で、石垣島東部に位置している。 人為的な対策もあるものの、農地の数が多く流出が確認された。 また、大規模な沈砂池も多くあるものの河川下流部では濁水が確認された。	海域位置図 
流域図	
 *衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
農地からの流出状況	河川下流域の様子

(69 石垣島東南) 轟川流域

流出源調査 (2024年6月12日実施)

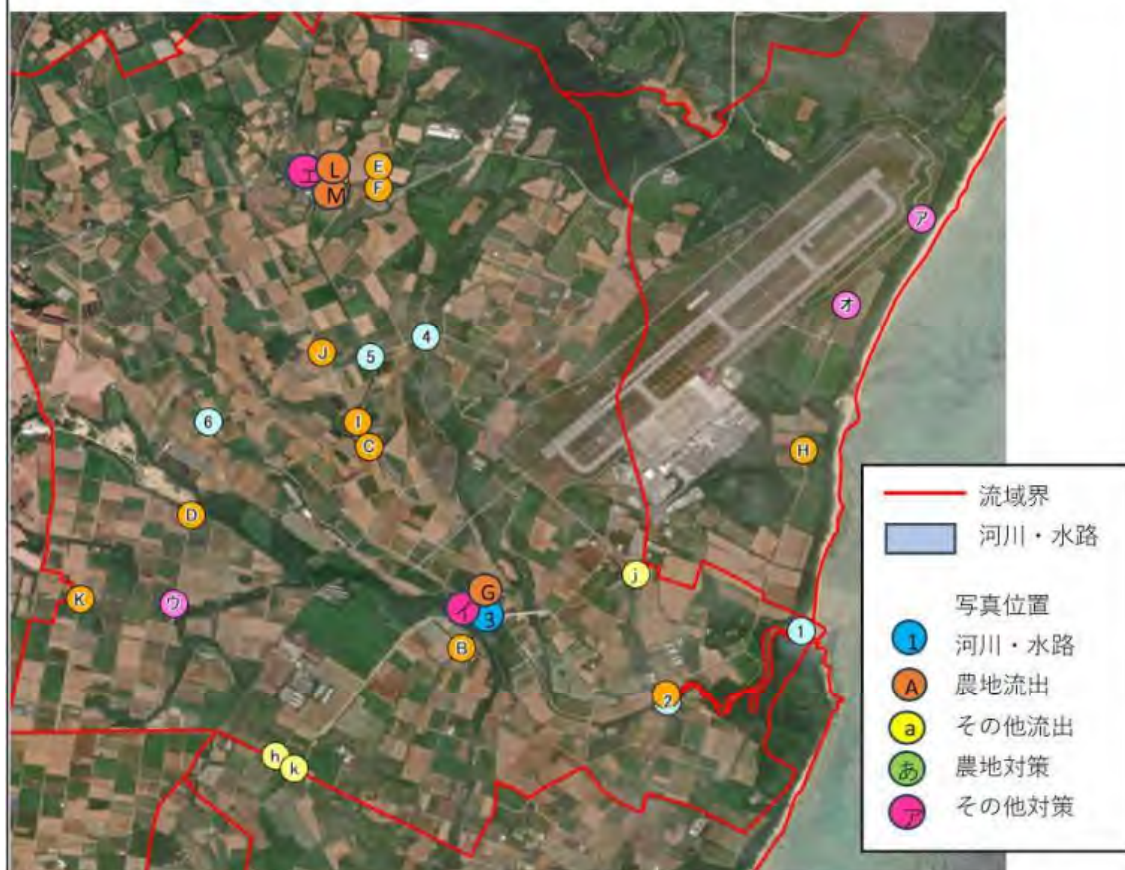
降雨状況 盛山観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

調査当日の降雨は確認されなかった。



* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(69 石垣島東南) 轟川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)	
調査当日の降雨は確認されなかったため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、濁りが確認され、濁度は69.0度だった。
2	河川下流域において、若干の濁りが確認された。
3	東側支川下流域において、若干の濁りが確認され、濁度は17.7度だった。
4	北側支川中流域において、濁りは確認されなかった。
5	北西側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は50.9度だった。
6	西側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は50.5度だった。
流出情報等	
・農地	
A,E,F,H,I	サトウキビ畑から道路へ赤上等の流出痕が確認された。
C,D,J,L,M	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
B,G	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
K	裸地の目立つ農地から道路へ赤土等の流出痕状況
流出防止対策等	
・その他 (造成地や工事など)	
ア,イ,エ,オ	沈砂池において、水が滞留していたが、オーバーフローは確認されなかった。
ウ	集水桝において土砂の堆積が確認された。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A,F,H,I	昨年度と比べて変化はなくサトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
B	昨年度と比べて変化はなく、農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C,D,J	昨年度と比べて変化はなく、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
E	昨年度と比べ、道路への流出は減っていたが、流出痕はうっすら残っていた。
G	昨年度と比べ、裸地は減っていたが変わらず道路や側溝へ赤土の流出痕が確認された。
K	昨年度と比べ変化はなく裸地の目立つ農地から道路へ赤土の流出痕が確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
h,j,k	昨年度と比べて変化はなく、赤土等の流出痕も確認されなかった。
流出防止対策等	
ア,イ,エ,オ	昨年度と比べて変化はなく、滞水が確認された。沈砂池の底面が確認できないほどの濁りが確認されたため、ある程度の土砂が堆積されていると思われる。 オーバーフローは確認されなかった。
ウ	昨年度と比べて変化はなく、集水桝には土砂が堆積していた。

(69 石垣島東南) 轟川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)		
調査当日の降雨は確認されなかったため通常時として調査		
		
1. 河口域の状況 (濁りあり)	2. 河川下流域の状況 (濁りあり)	3. 東側支川下流域の状況 (若干の濁りあり)
		
4. 北側支川中流域の状況 (濁り無し)	5. 北西側支川中流域の状況 (濁りあり)	6. 西側支川中流域の状況 (濁りあり)
		
A. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	B. 農地から道路や側溝へ赤土の 流出痕状況	C. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況
		
D. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況	E. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	F. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況
		
G. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出痕状況	H. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	I. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況

(69 石垣島東南) 轟川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)		
調査当日の降雨は確認されなかったため通常時として調査		
		
J. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	K. 裸地の目立つ農地から道路へ赤土等の流出痕状況	L. サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況
		
M. サトウキビ畑から道路や	h. 前回工事完了箇所の追加調査	j. 前回工事完了箇所の追加調査
		
k. 前回工事完了箇所の追加調査	ア. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)	イ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)
		
ウ. 集水樹の状況 (土砂堆積)	エ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)	オ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)

(8) 宮良湾

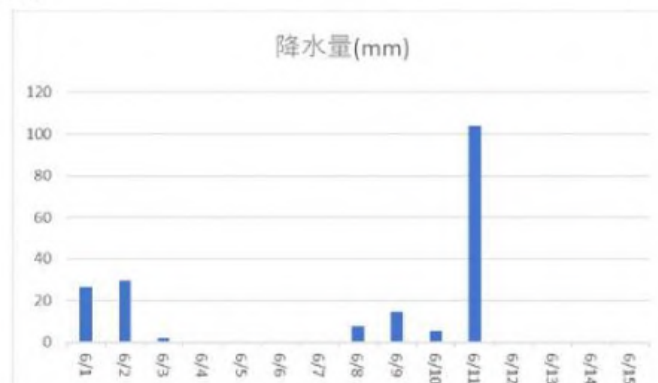
調査結果を P5-1 4~4P5-14 9に示す。

(70 宮良湾) 宮良川流域	
流域内状況	
本流域は石垣島南東部に位置している。 河川上流域には真栄里ダムや底原ダムがある。	海域位置図 
流域図	
 *衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
真栄里ダム	底原ダム

(70 宮良湾) 宮良川流域

流出源調査 (2024年6月12日実施)

降雨状況 盛山観測所



調査日当日の降雨状況

小雨が降っていたが観測所では0mmとされる程度であった。



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(70 宮良湾) 宮良川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)	
降雨量が0mmだったため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において濁りが確認され、濁度は295.0(度)であった。
2	河川中流域において、若干の濁りが確認された。
3	河川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は18.5(度)であった。
4	北側支川上流にある真栄里ダムにおいて、放水していたものの、濁りは確認されなかった。
5	北東側支川にある底原ダムにおいて、放水は確認されなかった。
6	河川上流域において、若干の濁りが確認され、濁度は18.1(度)であった。 また、河川の一部では濁りの濃い部分があり、この濁りの原因は「地点J」からの流れ込みと考えられる。
流出情報等	
・農地	
A	サトウキビ畑から道路へ濁水の流出が確認された。また、隣接する集水桝や側溝には土砂の堆積が確認された。
B	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
C	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
D	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
E	パイナップル畑から側溝へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
G	サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
H	水田から水路へ水の流出が確認され、濁りが確認された。
I	パイナップル畑から道路へ濁水の流出が確認された。
J	水田から水路へ濁水の流出が確認され、濁度は140.4(度)であった。またこの水路は「地点6」の河川上流域へ流れ込んでいたことから、この地点を含め周辺にある水田は河川の濁りの原因の1つと考えられる。
K	パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。また、道路には土砂が堆積していた。
・その他（造成地や工事など）	
a	裸地から道路へ赤土等の流出が確認された。
d	前年度より引き続き大規模造成工事が確認された。また、沈砂池による赤土等の流出防止対策が施されており、処理水に濁りは確認されなかった。
流出防止対策等	
・農地	
あ	サトウキビ畑において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認されが、濁りが確認された。濁度は148.7(度)であった。
い	縄を境界において流出対策をとっている。
・その他（造成地や工事など）	
ア,イ	沈砂池において、オーバーフローは確認されなかった。

(70 宮良湾) 宮良川流域 流出源調査 (2024年6月12日実施)	
降雨量が0mmだったため通常時として調査	
ウ	畑ではないがグリーンベルトを植えて流出対策をしていた。
エ	法面に草を敷くことで流出対策をしていた。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
B	令和4年度から変化は無くサトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
C	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
D	令和4年度から変化は無くサトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
E	令和4年度と比べパイナップル畑から道路への赤土等の流出痕は濃くなっていた。
G	令和4年度と比べ変化は無く、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
H	水田から水路へ水の流出が確認され、若干の濁りが確認された。
I	令和4年度から変化は無く、パイナップル畑から道路へ濁水の流出が確認された。
J	令和4年度と比べ変化は無く、水田から水路へ濁水の流出が確認された。
K	令和4年度から変化は無く、パイナップル畑から道路へ濁水の流出が確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
d	令和4年度と比べ変化は無く、大規模造成工事が確認された。
流出防止対策等	
・農地	
あ	令和4年度と比べ変化は無く、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認されたが濁りが確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
ア,イ	令和4年度と比べ変化は無く、沈砂池には草本が茂っており土砂が堆積していた。

(70 宮良湾) 宮良川流域流出源調査 (2024年6月12日実施)		
降雨量が0mmだったため通常時として調査		
		
1. 河川河口域の状況 (濁りあり)	2. 河川中流域の状況 (濁りあり)	3. 河川中流域の状況 (濁りあり)
		
4. 真栄里ダムの状況 (放水有り、濁り無し)	5. 底原ダムの状況 (放水無し)	6. 河川上流域の状況 (濁り少)
		
A. サトウキビ畑から道路や 集水桝へ濁水の流出状況	B. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	C. サトウキビ畑から道路や 側溝へ濁水の流出状況
		
D. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	E. パイナップル畑から側溝へ 赤土等の若干の流出痕状況	G. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出痕状況
		
H. 水田から水路へ水の 流出状況	I. パイナップル畑から道路へ 濁水の流出状況	J. 水田から水路へ濁水の流 出

(70 宮良湾) 宮良川流域流出源調査 (2024年6月12日実施)		
降雨量が0mmだったため通常時として調査		
		
K. パイナップル畑から道路へ赤土等の流出痕状況	a. 裸地から道路へ赤土等の流出痕状況	d. 工事現場の状況
		
h. 土砂置き場から道路への流出	あ. 勾配修正による赤土等の流出防止対策 (濁り有)	い. 縄を境界に置いて流出防止
		
ア. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)	イ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)	ウ. グリーンベルトを植えた流出対策
		
エ. 法面に草を敷くことで流出対策		

(9) 西表島東

調査結果を P5-15～P5-155 に示す。

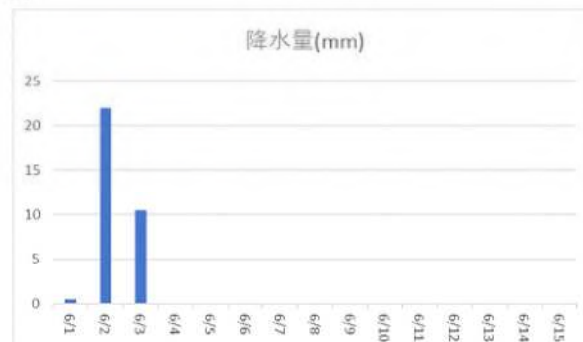
(73 西表島東) 与那良川流域	
流域内状況	
本流域は与那良川を主とする流域であり、西表島東部に位置する。 流域内の農地の多くが牧草地か水田であり、農地外では牛舎も確認された。 河川付近に牛の放牧地とともに水をためる施設があり、牛が水浴びをした濁水が河川へと流れている様子が確認された。	海域位置図 
流域図	
	
* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	
河川沿いの整備された水田	河川付近にある放牧地

(73 西表島東) 与那良川流域

流出源調査 (2024年6月11日実施)

降雨状況 大原観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

調査当日の降雨は確認されなかった。



- 流域界
- 河川・水路
- 写真位置
- 1 河川・水路
- A 農地流出
- a その他流出
- あ 農地対策
- ア その他対策

*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(73 西表島東) 与那良川流域 流出源調査 (2024年6月11日実施)	
調査当日の降雨は確認されなかったため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は16.0(度)であった。
2	河川下流域において、若干の濁りが確認された。
3	河川中流域において、若干の濁りが確認され、濁度は19.1(度)であった。
4	「地点3」の水路上流の山部からの流れ込み箇所において、濁りは確認されなかった。
5	南側河川下流域において、若干の濁りが確認され、濁度は18.6(度)であった。
6	南側河川上流域において、濁りは確認されなかった。
7	河川上流域において、若干の濁りが確認され、濁度は11.7(度)であった。
流出情報等	
・農地	
A	畑横の側溝が詰まりオーバーフローしている。
・その他 (造成地や工事など)	
d	牛舎より道路と河川に土が流出している。
e	構造物内で牛が水浴びをしており、その水が河川にそのまま流れていた。
流出防止対策等	
・農地	
あ	水田周辺において、畦畔や法面保護による赤土等の流出防止対策が確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
ア	集水桝において、濁りは確認されなかったものの、土砂の堆積が確認された。
イ,ウ	沈砂池において、オーバーフローは確認されなかった。
エ,オ	沈砂池において、オーバーフローが確認された。
カ	沈砂池において、オーバーフローは確認されなかった。濁度は239.2(度)であった。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・その他 (造成地や工事など)	
d	造成された土地にある牛舎より土が大量に道路と道路を挟んだ河川に流れている。
流出防止対策	
・農地	
あ	令和4年度と変わらず畦畔や法面保護による赤土等の流出防止対策が確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
ア	令和4年度と変わらず集水桝内には土砂の堆積が確認された。
イ	令和4年度と変わらず、沈砂池内には草本が茂っており、土砂が堆積していると考えられる。
ウ	令和4年度と比べ、沈砂池内の草は減っていたが、濁りがひどかったため、土砂が堆積していると考えられる。
エ	令和4年度と比べ、沈砂池内には草本が茂っており、土砂が堆積していると考えられる。

(73 西表島東) 与那良川流域 流出源調査 (2024年6月11日実施)		
調査当日の降雨は確認されなかったため通常時として調査		
		
1. 河川河口域の状況 (濁度16.0(度))	2. 河川下流域の状況 (濁り少)	3. 河川中流域の状況 (濁り少)
		
3. 採水の状況 (濁度19.1(度))	4. 山部から水路へ流れ込み 箇所状況(濁り無し)	5. 南側河川下流域の状況 (濁度18.6(度))
		
6. 南側河川上流域の状況 (濁り無し)	7. 河川上流域の状況 (濁度11.7(度))	A. 畑横の側溝が詰まり オーバーフローしている
		
b. 山地から水路への状況 (流出無し)	d. 牛舎より道路に土が流出	e. 牛が水浴びした水が 河川に流出
		
あ. 側溝横に畔を作り 流出防止	ア. 集水樹の状況 (濁り無し、堆積あり)	イ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)

(73 西表島東) 与那良川流域 流出源調査 (2024年6月11日実施)		
調査当日の降雨は確認されなかったため通常時として調査		
		
ウ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無し)	エ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー有り、濁り有り)	オ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー有、濁り有)
		
カ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無、濁り有)	キ. 採水の状況 (濁度239.2(度))	

(10) 小浜島周辺

調査結果を P5-1 5～7P5-16 2に示す。

(74 小浜島周辺) 小浜島東流域

流域内状況

本流域は小浜島東部に位置している。
サトウキビ畑や草地が多く存在している。

海域位置図



流域図



* 衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



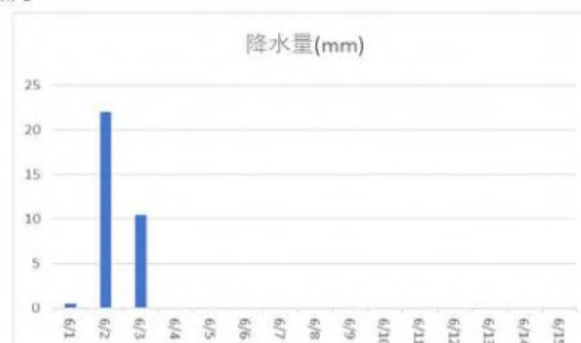
段差のある草地のがけ崩れと滞水している窪地

(74 小浜島周辺) 小浜島東流域

流出源調査 (2024年6月11日実施)

降雨状況 大原観測所

調査前日までの降雨状況



調査日当日の降雨状況

当日は少雨であり、観測値も0mmであったため通常時として調査した。



*衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

(74 小浜島周辺) 小浜島東流域流出源調査 (2024年6月11日実施)	
当日は少雨であり、観測値も0mmであったため通常時として調査	
河口、河川状況等	
1	南側河口域において、濁りは確認されなかった。濁度は9.6(度)であった。
3	北側河口域において、濁りは確認されなかった。
4	畑横にある水路に濁りが確認された。濁度は42.2(度)であった。
流出情報等	
・農地	
A	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
B	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
D,E	サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
F	牧草地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。濁度は18.9(度)であった。
H	サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の流出痕及び堆積が確認された。この側溝は「地点ア」の用水池へ続いていたため、その濁りの原因の1つと考えられる。
I	裸地の目立つサトウキビ畑が確認された。農地の状況から側溝へ赤土等の流出可能性が高いと考えられる。
・その他	
d	サトウキビ畑から側溝への赤土等の流出痕は確認されなかった。濁度は9.4(度)であった。
流出防止対策等	
・その他 (造成地や工事など)	
ア	農業用水池において、オーバーフローは確認されなかった。
イ	沈砂池において、オーバーフローは確認されなかった。
ウ	沈砂池において、オーバーフローは確認されなかった。
令和4年度確認地点との比較	
流出情報等	
・農地	
A	令和4年度と比べ、農地から道路への赤土等の流出痕が若干確認された。
B	令和4年度と比べ、農地は裸地が減ってはいたものの若干の赤土の流出痕が確認された。
C	令和4年度と比べ水田の様子は変わらず集水桝への濁水流出は確認されなかった。
D	令和4年度と比べサトウキビ畑から道路への赤土の流出痕は変わらず確認された。
E	令和4年度から変化は無くサトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
F	令和4年度と比べ、牧草地から道路への赤土等の流出痕は変わらず確認された。濁度は18.9(度)であった。
G	令和4年度と比べ、サトウキビ畑から道路への赤土等の流出痕は変わらず確認されなかった。
H	令和4年度と比べサトウキビ畑から道路への赤土の流出痕は変わらず確認された。

(74 小浜島周辺) 小浜島東流域流出源調査 (2024年6月11日実施)	
当日は少雨であり、観測値も0mmであったため通常時として調査	
Ⅰ	令和4年度と比べサトウキビ畑から側溝への赤土の流出痕は変わらず確認された。
・その他 (造成地や工事など)	
c	令和4年度と比べ変化は無く、残土置き場が確認された。
d	令和4年度に流出の可能性が低いと予想された箇所だが、予想通り流出はほぼ無いように見られる。
流出防止対策等	
・その他 (造成地や工事など)	
ア	令和4年度と比べ変化は無く、農地用水池はオーバーフローしていなかった。
イ,ウ	令和4年度と比べ変化は無く、沈砂池には草本が茂っており、土砂が堆積していると推察される。

(74 小浜島周辺) 小浜島東流域 流出源調査 (2024年6月11日実施)		
当日は少雨であり、観測値も0mmであったため通常時として調査		
		
1. 南側河口域の状況 (濁り無し)	3. 北側河口域の状況 (濁り無し)	4. 畑横の水路に赤土等の 流出 (濁り有り)
		
A. 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況	B. 農地から道路へ赤土等の 流出痕状況	C. 水田の状況 (流出無し)
		
D. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	E. サトウキビ畑から道路へ 赤土等の流出痕状況	F. 牧草地から道路へ赤土等 の若干の流出痕状況
		
G. サトウキビ畑の状況 (流出無し)	H. サトウキビ畑から道路や 側溝へ赤土等の流出	I. 裸地の目立つサトウキビ 畑の状況
		
c. 残土置き場の状況	d. サトウキビ畑横の側溝 の状況 (流出無し)	ア. 農地用水池の状況 (オーバーフロー無し)

